

崔書勉先生を囲む会「第十回 日韓談話室」のご案内

天高く馬こゆる秋を期待しておりますのに、風のあい間にのぞく青空しか見られない昨日、今日でございます。季節の変わり目になりましたが皆様には御健康にお過ごしでしょうか、御伺い申し上げます。

秋になつても落ち着かない経済状況が続き、新聞紙面も破綻・リストラ・破壊・不正融資・特損・不透明・等々キリのない不安な言葉をちりばめております。アメリカ迄も二人のノーベル賞経済学者が参画した投資会社LTCMの事実上の破綻ですとか。真面目に仕事をしていると馬鹿を見るのではないかと思わざる得ないこの頃です。皆様は如何に対応され、如何お考えでいらつしやるのでしょうか？

さて、日韓談話室は金大中大統領の訪日前に金鍾泌先生の國務総理御就任の嬉しいニュースに接し、行動のステップアップを考えて行き度いと存じております。

越智通雄先生曰く、金大統領訪日は二十一世紀を迎えるにあつたつての日韓両国のエポックであるといふ。このエポックを語るに素晴らしくふさわしい崔書勉先生に解説を御願ひしない等は考えられない。

そこで今回は崔先生から「金大統領訪日と両国のエポック」と題してたつぷりの時間を用意し御講話を頂き、今 福田赳夫元総理亡き後、日韓問題に熱く燃える越智先生から「金大統領訪日に日本国が考える事」について熱く語って頂く事に致しました。

尚、先般の送る会に続きソウルで行われた故金山政英先生の謙遜で心暖まる遷葬式の意義等々橋本明副団長より御報告頂く予定でございます。

つきましては左記の通り開催致しますので、万障お繰り合わせご出席下さいますようお願い申し上げます。

一九九八年九月二十八日

敬具

『日韓談話室』

代表世話人

世話人

堀 嘉 寺
陽 田
嘉 佳
枝 子
涉

記

日 時 一九九八年十月十三日 (火)

受付 十七時より

開会 十八時二十時 (終了退出)

場 所 日本倶楽部 丸の内・国際ビル八階 TEL: 〇三―三二二―二五二一

会 費 五千円 (簡単なお弁当を御用意致しております)

日時が迫り恐縮でございますが、十月六日 (火) 迄に同封葉書にて必ずご出欠をお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

『日韓談話室』連絡先

オズインターナショナル内・秘書 宇田

TEL: 〇三―三四〇四―一八八

FAX: 〇三―三四〇四―六三〇一

報告: 崔書勉先生を囲む会「第九回 日韓談話室」故金山政英先生を送る会 (一九九八年八月二十六日) 江口一雄先生、会前炳宇・金基成両公使、末次一郎先生、衛藤藩吉先生、橋本明氏はじめ御遺族三男成吉氏と四名様、金山大使時代の大使館員の方々の御参加があり五十三名が出席。韓国 洪淳瑛外交通商部長官、高村正彦外務大臣の御供花を賜り、お陰様で盛会になごやかに催す事が出来ました。まず崔先生から金山先生遷葬の経緯から熱き友情と日韓を思う熱い心情を伺いました。前田利一先生、塚本勝一先生とも金山大使時代の公使であり武官であられましたので、お話の中心は淀号事件のドキユメントリ。息詰まり乍ら犯人に対する日本政府と韓国政府の違う見解の迫間での対応、誰も想像出来なかつた金山大使のインスピレイション等々伺いました。塚本先生の胸には尽きぬ大きな思い出が溢れる如く、時よ止まれと心の中で思いました。故金山先生遷葬関係の写真 簡単な展示を致します。